

日交研シリーズ A-699  
平成 28 年度共同研究プロジェクト  
自動車保険研究  
刊行：2017 年 12 月

ビッグデータ時代と自動車保険  
Big Data Era and Automobile Insurance

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学教授）

Kazuyoshi Hotta

要 旨

「第 4 次産業革命（The Fourth Industrial Revolution）」と呼ばれる新しい社会革命が到来しつつある中で、保険業界もその変革の波にさらされている。保険業界は、AI（人工知能）やビッグデータを活用したインシュアテック（Insuretech）を取り入れた新たなビジネスモデルを模索し始めたところである。既に、テレマティクス自動車保険は、その皮切りとして着実に浸透し始めている。

自動車保険をめぐっては、近年、自動運転車の開発が保険業界にどのような影響を及ぼすかに大きな関心が集まっている。それは、保険事業に構造的変化をもたらす可能性が予想されていることによる。

ビッグデータの利活用の進展により、契約者に対するサービス拡充に向けた開発競争が激化し、また、他の産業との連携を含めた新たなビジネスモデルが生み出されることが期待されるが、そこでの功罪についても慎重に検討が図られる必要がある。

本研究は、ビッグデータ時代の到来が保険システム、とりわけ自動車保険にどのように影響を及ぼそうとしているか、今回は、その現状を捉えて、今後の研究課題を整理することを目的とする。

キーワード：第 4 次産業革命、ビッグデータ、IoT、人工知能、自動運転車、アンダーライティング

Keyword： The Fourth. Industrial Revolution, Big Data, Internet of Things, Artificial Intelligence, Autonomous Car, Underwriting